

百年前の未来予測

よこた じゅんや
横田 順彌

百年前の未来予測が
どのような書き方になっているかを読み取る。

序論

未来予測記事の説明
今から百年ほど前（二十世紀最初の年）
「二十世紀の予言」

事実と考え・意見をとらえるために、板書で一斉指導します。

本論

段落	項目
②③	無線通信および電話
④	遠きよりの写真
⑤	自動車の世
⑥⑦	鉄道の速力
	テレビ電話
	エアコン
⑧	カタログはん売のふきゅう
	レーザーメス
	植物の品種改良
⑨	多くを的中してきた理由
⑩	野獣の滅亡

「無線通信および電話」の項目

例えば、「無線通信および電話」の項目では、電話網が世界じゅうに広がり、

～（中略）～

この予測にはただおどろくしかありません。

予測したこと

当時の様子
現在の様子

「遠きよりの写真」では
予 カラーテレビの登場
当 テレビさえ未完成
現 世界中の出来事が
カラーテレビで見れる

結論

横田さんの考え

科学技術の進歩
すべてがよかったとはいえない
未来について考えるときは注意

- 2 / 11 時間目 指導略案 使用するワークシート…との一部
活動のねらい

文章の全体からおおまかな構成を読み取り、本文の論の述べ方に気付くようにする。

- 1 めあてを確認し、本時の見通しをもつ。

- 2 本文を通読し、おおまかな構成と事例をワークシートに書く。

本文通読とワークシートの記入を各自で行わせる。（十五～二十分程度）
早く終わった児童には、序論、結論の部分に書かれていることを要約させる。
書き終えた後に隣同士で書いた内容の確認をさせるようにする。

- 3 本文の大まかな構成と事例を確かめる。

あらかじめ、序論・本論・結論を黒板に書き、本論の広用紙についても掲示しておく。

序論の要点を確認する。

結論の中から、筆者が伝えたいことをまとめる。

本論の事例の整理をする。

説明文の3部構成や段落の要点
要旨をまとめることなど、これまで
の学習のおさらいとなるよう
にするとよいでしょう。

- 4 未来予測の事例を読み、どのようなことが書かれているか読み取る。

「無線通信および電話」の事例で、一文ごとに何について書いているか考えさせながら読ませる。

予測したこと 当時の様子 現在の様子 が書かれて

いることを確認する。

「遠きよりの写真」において、同じような書き方がされていることを確かめさせる。

「ここでは、事実と考えや
意見をとらえて読むこと
が必要になりますね。」

評価 教材文のおおまかな構成や未来予測の述べ方をとらえながら読むことができる。

- 5 学習を振り返り、自己評価をする。

ワークシートの【学習の振り返り】を記入して、「2 本文を通読し、おおまかな構成と事例をワークシートに書く。」の作業について自己評価をする。